

2026J-1朱鷺CUP大会参加申込書(型部門)
※組手部門にお申込の場合は組手申込書をご使用ください

私儀、本大会のルール、規約に同意し、正々堂々と技を競い合うことを誓います。
試合中及び施設内外での事故、負傷、盗難等があった場合の責任は一切を自身並びに保護者が負い、
主催者に異議、苦情の申し立て、損害を与えない事を確認、誓約いたします。
注)大会出場に際し、各所属団体でのスポーツ保険加入が義務付けられます。
万一負傷した場合は各所属団体で対処して下さい。



道場名	尚道館		保護者署名	印		
フリガナ 選手名			男/女	新学年を記入 幼年・小学 ()年・中学 ()年 生年月日 西暦 年 月 日生(才)		
住所	〒		緊急連絡先	()		
修行年数と級位は組合せの参考に致しますので、必ずご記入下さい ⇒			修行年数	年	級位	級/段
大会入賞歴(過去1年以内で最も高い順位の大会をご記入下さい)						
開催年月	主催団体名・大会名		階級	順位		
出場クラスに☑を付け、出場階級を記入欄に記入して下さい。						
型部門(極真型) ※新学年でのエントリーです。						
☐ 小1～2 平安I	☐ 小3～4 平安2	☐ 小5～6 平安3	☐ 中学生 平安4			
型部門(土衛塾型) ※新学年でのエントリーです。						
☐ 幼年 基本形1番(号令有)	☐ 小1～2 基本形1番	☐ 小3～4 基本形2番	☐ 小5～6 基本形3番	☐ 中学生 基本形4番		
出場階級記入	※出場階級を必ずご記入下さい					
出場する全ての方は以下のアンケートにお答えください。						
出場クラスがワンマッチ(エントリー2名のみ)の場合 ()参加希望する ()参加希望しない						

※ 参加人数により、細分化・統廃合する場合がございます。
※ 勝敗は旗判定となります。判定基準は、型の完成度、技の正確性などで総合的に判断致します。

新学年です。提出する前に必ず学年、出場するクラスを確認して下さい。クラス間違えは失格となります。

【IBKO公認大会】 2026J-1朱鷺CUP大会参加申込書(組手部門)

※型部門にお申込の場合は型申込書をご使用ください

私儀、本大会のルール、規約に同意し、正々堂々と技を競い合うことを誓います。
試合中及び施設内外での事故、負傷、盗難等があった場合の責任は一切を自身並びに保護者が負い、
主催者に異議、苦情の申し立て、損害を与えない事を確認、誓約いたします。
注)大会出場に際し、各所属団体でのスポーツ保険加入が義務付けられます。

万一負傷した場合は各所属団体で対処して下さい。

組手

道場名	尚道館			保護者署名	印		
フリガナ				男/女	新学年を記入 年少・年中・年長・小学()年生 中学()年生・高校()年生・一般		
選手名					中学生以上(アンダー)の解釈は 2026年11月23日時点での満年齢で判断して下さい。		
住所	〒			緊急連絡先	()		
身長	cm	体重	kg	修行年数	年	級位	級/段

大会入賞歴(過去1年以内で最も高い順位の大会をご記入下さい)

開催年月	主催団体名・大会名	階級	順位
出場クラスに☑を付け、出場階級を記入欄に記入して下さい。※新学年でのエントリーです。			
代表選抜対象階級は★印がついています。小学生初級、中級クラスは男女混合です。			

☐ 年少、年中	☐ 年長初級	☐ 年長上級	
☐ 小1初級	☐ 小1中級	☐ ★小1女子上級	☐ ★小1男子上級
☐ 小2初級	☐ 小2中級	☐ ★小2女子上級	☐ ★小2男子上級
☐ 小3初級	☐ 小3中級	☐ ★小3女子上級	☐ ★小3男子上級
☐ 小4初級	☐ 小4中級	☐ ★小4女子上級	☐ ★小4男子上級
☐ 小5初級	☐ 小5中級	☐ ★小5女子上級-38kg	☐ ★小5女子上級+38kg
		☐ ★小5男子上級-38kg	☐ ★小5男子上級+38kg
☐ 小6初級	☐ 小6中級	☐ ★小6女子上級-43kg	☐ ★小6女子上級+43kg
		☐ ★小6男子上級-43kg	☐ ★小6男子上級+43kg

中学生以上(アンダー)の解釈は 2026年11月23日時点での満年齢で判断して下さい。				アンダー-13(※男子のみ、中学1年&13歳の中学2年) ◎中学2年はアンダー-15への出場も可 アンダー-15(男子14歳の中学2年生、中学3年生 & 15歳の高校1年生) (女子中学1年~15歳の高校1年生) アンダー-18(男女とも16歳以上高校生 & 高校卒業後18歳の選手) ◎高校1年はアンダー-18への出場も可			
☐ 中学女子初級	☐ ★アンダー-15女子-45kg	☐ ★アンダー-15女子-52kg	☐ ★アンダー-15女子+52kg				
	☐ ★アンダー-18女子-48kg	☐ ★アンダー-18女子-55kg	☐ ★アンダー-18女子+55kg				
☐ 中学男子初級	☐ ★アンダー-13男子-48kg	☐ ★アンダー-13男子+48kg					
	☐ ★アンダー-15男子-54kg	☐ ★アンダー-15男子-68kg	☐ ★アンダー-15男子+68kg				
	☐ ★アンダー-18男子-62kg	☐ ★アンダー-18男子-70kg	☐ ★アンダー-18男子+70kg				
	☐ ★一般女子-48kg	☐ ★一般女子-55kg	☐ ★一般女子+55kg				
	☐ ★一般男子-68kg	☐ ★一般男子-78kg	☐ ★一般男子+78kg				

出場階級記入	※1.出場階級を必ずご記入ください ※2.全日本大会は出場階級での権利獲得となります。他への階級変更は出来ません
--------	--

出場する至るの方は以下のアンケートにお答えください。			
出場クラスがワンマッチ(エントリー2名のみ)の場合		()参加希望する	()参加希望しない
小中高生上級、一般に出場する方は以下のアンケートにお答え頂き、ご署名をお願い致します。			
第3回ワールドカップの出場権を獲得した場合	()出場希望する	()出場希望しない	保護者ご署名
エントリーが1名のみの場合返金無しに	()同意する	()同意しない	

※エントリーが1名のみの場合、「出場希望しない」「出場希望する&返金無しに同意しない」方にはご返金致します。但しワールドカップの代表権は獲得出来ません。

※ 参加人数により、細分化・統廃合する場合がございます。

※ 上級クラスにエントリーされた方は、エントリー1名で試合が未成立の場合でも(代表選抜推薦がある為)ご返金は致しません。アンケート欄「同意する」にご記入ください。

組手試合規約（国際空手道連盟ルール・小学生・世界大会/全日本大会/選抜用）

1. 審判基準

審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定は、すべて審判長の裁可による。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効とする。2名以下及び主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長と審議委員が協議の上、審判長が変更を指示することができる。

2. 試合時間

①準決勝まで 本戦 1分30秒 → 延長戦 1分(マスト)

②決勝戦 本戦 1分30秒 → 延長戦 1分 → 最終延長戦 1分(マスト)

3. 防具

階級	ヘッドガード	拳サポ	Pグローブ	スネ	ヒザ	金的・女子アンダー	女子胸ガード
小学生以下	○	○	×	○	3年以上○	○	3年以上○

※全ての防具を各自準備すること。防具類は全て白の布製とする。

※ヘッドガードは以下の条件のものであれば、メーカーやロゴマーク(極真やJKJO)の指定はありません。

本体の色は白、スポンジ入りビニールレザー等の素材で、面が付いている形状のもの。面の形状・色・素材は問わない。イサミ製 TT-25、TT-300、マシマルド製 HG-17、他メーカー製も使用可。

赤コーナー用の腰に装着する赤紐もセットで用意すること。

※拳サポーターは極真、士衛塾、JKJO ロゴ入りとする。伊ミ又はマシマルド製同一形状品を使用する場合、大会当日審判長の承認を得なければならない。詳細は別紙「組手防具ガイド」を参照。

※ヒザサポ：小学3年以上着用義務。女子胸ガード：小学2年以下禁止、小学3年以上着用義務。

※全選手、金的ガード、又は女子アンダーガードを着用。ズボンの内側に着用すること。

※女子胸ガードは、IBKO 製ディフェンス・フェスター、マシマルド製 CG32、伊ミ製 L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。胴全体を覆う形状のものは使用禁止。

※女子選手のインナーTシャツの色は白限定とします。

※テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたものののみ許可する。ハードテープ使用不可。

4. 着衣

清潔な空手着を着用し規定のゼッケンを背中中央の中央に貼り付けること。

5. 一本勝ち

①反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒したとき、又はダメージにより、相手が泣いたり、戦意喪失した場合。

②技あり 2本で合わせ一本勝ちとする。

6. 技あり

①反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手の動きが一時的に止まった時、大きく崩れた時、体がくの字になり防戦一方になった時、足をひきずる様な時。

②ノーガードで相手に上段の蹴り技がヒットした場合(但し、小学生以下は上段膝蹴り禁止)

③前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。審判員の判断により、下段突きが無くても技ありとすることもある。

④胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。

⑤全く同じタイミングに両選手の蹴り技が決まった場合は相打ちとし、両方技ありとしない。

7. 判定

一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定で決める。

判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。

但し、注意がある場合は、別表「審判判定基準(図解)」の通りとする。

判定が決まらない場合は延長戦を行い、延長戦でも決着しない場合は最終延長(決勝のみ)で決定する。

8. 反則

①手、肘による顔面、首、のどへの攻撃。 ②金的蹴り、頭突き。

③上段膝蹴り(ヒットした場合、注意が与えられる) ④倒れた相手への攻撃。 ⑤背後からの攻撃。

⑥故意に場外に出ること。 ⑦掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。

⑧頭や胸をつけての攻撃。 ⑨技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃をさせない)

⑩倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1試合1回までとし(本戦1回、各延長1回)、

それ以上繰り返す場合は反則とみなす。

⑪相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。⑫その他、審判が反則とみなした場合。

⑬反則行為には注意が与えられ、注意4回で失格となる。注意は先に反則を仕掛けた方に与えられる。

⑭悪質な反則の場合は1回だけで、失格もありうる。

9. 減点

①注意を2回与えられたとき。②悪質な反則を行ったとき。

③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。 ④減点2で失格となる。

10. 失格

①減点2となったとき。 ②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。

「雄叫び」「ガッツポーズ」相手選手に対する「効いた」「倒せ」等の応援は失格になる可能性があります。

③試合中(主審が試合終了の合図を行う前までに)嘔吐したとき

④出場時刻に遅れたり、出場しないとき。 ⑤応援態度が悪質な場合も失格となることがある。

⑥当日の計量により、規定の体重を超えているとき。(空手衣を着用し2kg以上超えた場合失格)

⑦申告体重と計量体重に5kg以上の差がある場合、失格もありえる。

⑧反則により相手が試合続行不能になったとき。

11. その他

判定に対する抗議は一切認めません。

組手試合規約（国際空手道連盟ルール・中学～一般・世界大会/全日本大会/選抜用）

- 1.審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効とする。2名以下及び主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長と審議委員が協議の上、審判長が変更を指示することができる。
- 2.試合時間 ①一般男子 本戦2分→延長2分→最終2分（準決勝・決勝）本戦3分→延長2分→最終2分
②一般女子・U18・U15 本戦2分→最終2分（準決勝・決勝）本戦2分→延長2分→最終2分
③上記以外 本戦1分30秒→最終1分30秒（準決勝・決勝）本戦1分30秒→延長1分30秒→最終1分
※体重判定はありません。最終延長戦で勝敗を決定します。
- 3.防具
- | 階級 | ヘッドガード | 拳サポ | Pグローブ | スネ | ヒザ | 金的・女子アンダー | 女子胸ガード |
|----------|---------|-----|-------|----|----|-----------|--------|
| 一般男子 | × | × | × | × | × | ○ | × |
| 一般/U18女子 | 任意(前網無) | × | ○ | ○ | 任意 | ○ | ○ |
| U18男子 | 任意(前網無) | × | ○ | ○ | 任意 | ○ | × |
| U15男子 | ○(前網有) | × | ○ | ○ | 任意 | ○ | × |
| U15女子 | ○(前網有) | × | ○ | ○ | 任意 | ○ | ○ |
| マスターズ | × | × | ○ | ○ | 任意 | ○ | × |
- ※全ての防具を各自準備すること。Pグローブ以外の防具は全て白の布製とする。
※ヘッドガードは以下の条件のものであれば、メーカーやロゴマーク(極真やJKJO)の指定はありません。本体の色は白、スポンジ入りビニールレザー等の素材で、面が付いている又は脱着できる形状のもの。面の形状・色・素材は問わない。イサミ製 TT-25、TT-300、マッシュワールド製 HG-17、他メーカー製も可。赤コーナー用の腰に装着する赤紐もセットで用意すること。
※Pグローブは極真タグ付きオープンフィンガーグローブ(黒革製)、又はマッシュワールドのタグが付いた同一形状品 PG36 のみとする。事前に購入したい方は大会事務局までお問い合わせ下さい。
※金的ガード・アンダーガードはズボンの内側に着用すること。
※女子胸ガードは、IBKO 製ディフェンス・チェスター、マッシュワールド製 CG32、イサミ製 L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。胴全体を覆う形状のものは使用禁止。
※女子選手インナーTシャツの色は白限定とします。
※テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。
- 4.着衣 清潔な空手着を着用し規定のゼッケンを背中中の中央に貼り付けること。
- 5.一本勝ち 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたとき一本勝ちとする。技あり2本で合わせ一本勝ちとする。
- 6.技あり ①反則箇所を除く部分へ突き、蹴り、肘打ち等を決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し、3秒以内に立ち上がった時、または倒れはしないがバランスを大きく崩した時。一般男子以外の階級はノーガード状態で蹴りがクリーンヒットした場合も技ありとする。全階級、上段膝蹴りを有効とする。
②前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合
③胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。
- 7.判定 一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定で決める。
判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。
但し、注意がある場合は、別表「審判判定基準(図解)」の通りとする。
判定が決まらない場合は延長戦を行い、延長戦でも決着しない場合は最終延長戦で勝敗を決定する。
- 8.反則 ①手、肘による顔面、首、のどへの攻撃。手先が触れても反則とする場合がある。
②金的蹴り、頭突き。 ③倒れた相手への攻撃 ④背後からの攻撃。
⑤故意に場外に出ること ⑥掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。
⑦技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃をさせない)
⑧倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1試合1回までとし(本戦1回、各延長1回)、それ以上繰り返す場合は反則とみなす。
⑨相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。
⑩その他、審判が反則とみなした場合。
⑪反則行為には注意が与えられ、注意4回で失格となる。注意は先に反則行為を仕掛けた方に与えられる。
⑫悪質な反則の場合は、失格もありうる。
- 9.減点 ①注意を2回与えられたとき。②悪質な反則を行ったとき。
③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。 ④減点2で失格となる。
- 10.失格 ①減点2となったとき。
②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。
「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対する「効いた」「倒せ」等の応援は失格になる可能性があります。
③出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
④応援態度が悪質な場合も失格となる場合がある。
⑤当日の計量により規定の制限体重を越えているとき。(空手衣を着用し2kg以上超えた場合失格)
⑥申告体重と計量体重に5kg以上の差がある場合、失格もありえる。
⑦反則により相手が試合続行不能になったとき。
- 11.その他 判定に対する抗議は一切認めません。

IBKO世界大会 / 全日本大会 / 選抜大会 組手防具ガイド

Pグローブ以外は、
白い防具を使って
下さい

階級	ヘッドガード	拳サポ	Pグローブ	スネ	ヒザ	金的・女子アンダー	女子 胸ガード
小学生以下	○	○	×	○	3年以上○	○	3年以上○

階級	ヘッドガード	拳サポ	Pグローブ	スネ	ヒザ	金的・女子アンダー	女子胸ガード
一般男子	×	×	×	×	×	○	×
U18・一般女子	任意(前網無)	×	○	○	任意	○	○
U18男子	任意(前網無)	×	○	○	任意	○	×
U15男子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	×
U15女子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	○
マスターズ	×	×	○	○	任意	○	×

指定防具

ヘッドガード



4点共全て使用可能です

以下の条件のものであれば、メーカーやロゴマーク(極真やJKJO)の指定はありません。

本体の色は白、スポンジ入りビニールレザー等の素材で、面が付いている、又は脱着可能な形状のもの。

面の形状・色・素材は問わない。イサミ製 TT-25、TT-300、マーシャルワールド製 HG-17、他メーカー製も

使用可。赤コーナー用の腰に装着する赤紐もセットで用意すること。

拳サポーター



極真・JKJO・士衛塾ロゴが入っている
又はイサミ・マーシャルワールド製
同一形状品(審判長の承認マーク必要)

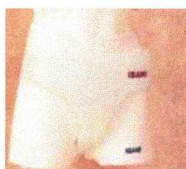
Pグローブ



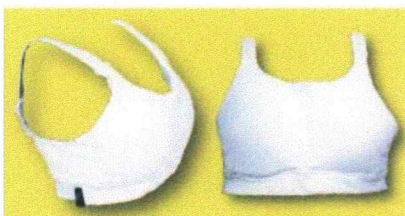
極真ロゴ入りオープンフィンガーグローブ
またはマーシャルワールドのタグが付いた同一形状品(PG36)
白革製のJKJO指定グローブの使用は不可。

推奨防具

女子アンダーガード



女子胸部プロテクター
カップ素材が硬質
プラスチック
でないもの



肋骨・みぞおちをカバー
するものは使用不可